

安全・安心のまちづくりへ

ひしだ
なつぎ
菱田 樫樹 議員

質問 このところ小学生を狙った残忍な殺人事件が数件起きている。羽村市でも防犯・防災対策の必要性和その期待が高まっております、警察をはじめ家庭、地域、行政が協力して、防犯体制を強化していくことが重要な課題となっている。以下、安全・安心のまちづくりに向けて質問する。

①市民生活安全パトロールについて、行動範囲、時間帯、効果（季節的な特色を含む）をどう評価するか。

②このパトロールは、警備会社等との関連もあるが、いつまで



▲市内を巡回するパトロール車

行うのか。

③都市計画道路 3・4・16 号線の立体交差事業に伴う通行止め区域、工事予定期間が決まった。この間の種々の安全対策は。

**市民生活安全パトロールを
継続して実施する**

市長 ①パトロール実施から 2 年を経過するが、防犯意識の高揚、駅周辺の治安の維持、犯罪の抑制、街路灯の確認、不法投棄の発見および早期回収など着実に効果が上がっており、また、近隣への迷惑防止等のため、夏場に多い公園での花火の注意など、季節的な効果も生じている。

②当初、国の緊急地域雇用創出特別補助金を財源としていたが、犯罪のない誰もが安心して暮らせる社会の実現のため、今後防犯体制の強化を図る施策のひとつとして、さらに効果的なパトロールとなるよう、市民と連

携・協働を図りながら、継続して実施していく考えである。

③生活道路へ通過交通の侵入を防ぐ迂回路表示の設置や、要所への誘導員配置など、国の道路工事現場における標示施設等の設置基準および道路工事保全施設設置基準に基づき、安全対策を行っていく。

工事現場の安全対策についても、国の土木工事安全施工技術指針に基づき、常に工事の安全と現場管理を行い、災害の防止を図っていく。

校長・副校長はもっと 率先して「授業」を担当 するべきではないか

はせひら こうぞう
馳平 耕三 議員

質問 校長・副校長の業務の中でマネジメントの部分で極力削減し、教育の原点である「授業」をもっと担当すべきではないかとの観点から問う。

①平成 17 年から教頭の呼び方が「副校長」に変わったのはなぜか。また、その職務は変化したか。

②羽村市では、校長・副校長は年間どのくらいの授業を担当しているか。

③校長・副校長は、もっと率先して授業を担当するべきではないか。

④同じく、若い教員の保護者対応をもっと援助できないか。

⑤校長・副校長は、教員からの相談に応じているか。

⑥マネジメントの部分は、イギリスの学校理事会制度や eラーニング（インターネット等を活用した研修または学習活動）を採用することで削減できないか。

**授業改善への意欲的な
取り組みが行われている**

教育長 ①東京都立学校の管理運営に関する規則の改正に伴い「副校長」と改めた。

職務権限の拡充、学校経営を担う管理職の立場をより明確化し、保護者や地域社会等の対応をより円滑



▲学校公開の様子（羽村東小学校）

化させること等を目的としている。

②通常の教育活動においては授業を行うことはないが、臨時的に、年間に数時間から 20 時間程度行っている。

③年次の浅い教員等のため、積極的に模範授業を実施する校長も複数おり、授業改善への取り組みが意欲的に行われている。

④若手教員が、保護者との対応を行う際には、事前に管理職から、関係作りの必要性などを指導している。

⑤校長や副校長が同席する校内の教育相談会議等の中で協議し、対応している。

⑥イギリスで取られている制度については、今後の学校運営の在り方として、現在も国の中央教育審議会等において協議が進められている段階であり、新たな制度の導入については、国や先進地域の動向を注視していきたい。

小・中学校の通学区域の弾力化について

つゆき りょういち
露木 諒一 議員

質問 ①羽村市の公立小・中学校は現在、基本的に学校通学区域制をとっているが、地域的要因や学校のクラス数等に弊害は出ていないか。

②松林小学校および富士見小学校の卒業生の中には、羽村第二中学校が近いにもかかわらず、第三中学校へ通っている生徒もいるが、第三中学校の通学区域である武蔵野小学校区域は、マシオン等の新築により生徒数が増える傾向にある。地域の状況を踏まえ、通学区域の弾力化を検討すべきと考えるがどうか。

③特に中学校において、「特色ある学校づくり」をより推進するためにも、学校選択制を検討すべきと考えるがどうか。

運用基準の見直しを含めて検討していく

教育長 ①現状の各小・中学校の学校規模で見ると、将来的には、少子化傾向の中でクラス数の減少が予測されるが、現段階では、松林小学校を除く小・中学校においては、一定規模で推移している。

②基本的には「地理的な理由や身体的な理由、いじめの対応を理由とする場合の外、児童・生徒等の特別な事情に即して相当と認める場合」に限り、区域外就学を認めてきた。

昨今では保護者から、児童・生徒の意思を尊重した学習面、部活



▲松林小付近通学路

動、友人関係などの事由による区域外就学を望むケースが増えている状況から、今後、運用基準の見直しを含め検討していく。

③学校選択制の導入にあたっては、羽村市の地域特性や今後の土地利用状況、定住志向等の動向を注視していく必要がある中で、今年度中に、学校選択制に関し保護者、教職員等を対象としたアンケート調査を実施し、さらに検討していきたい。

平成 18 年度 予算編成について

みずの よしひろ
水野 義裕 議員

質問 ①平成 16 年度の税収は、予算 105 億円に対して決算は 111 億円だったが、18 年度の見直しはどうか。

②予算編成方針を伺う。

③指定管理者制度をどれだけの施設に、導入を予定しているか。

④その効果をどう予測しているか。

⑤投資的事業で完成した施設の適切な維持修繕の、費用面についての基本的な考え方はどんなものか。

⑥スポーツセンターや学校など市内にある施設の社会教育用備品の補修・更新は、どのような考え方であっているか。

市民サービスの向上を目指して事業を実施する

市長 ①現時点では、平成 17 年度の当初予算額は確保できると予測している。

②全般として、特定財源の積極的確保による重点的・効果的配置、行政評価の活用、スクラップ・アンド・ビルド（部署や事業を新設する場合に、同等の組織や事業の統廃合を同時に行う、組織の肥大化防止方法のこと）の原則、事務事業の見直し等を基本認識としている。

③平成 18 年 4 月から、スイミング



▲市庁舎

センターと水上公園に、指定管理者制度を導入する予定である。

④平成 16 年度決算を基に、平成 18 年度では、スイミングセンターが約 7000 人の利用者増、約 1800 万円の経費縮減。

水上公園は約 6700 人の利用者増、約 600 万円の経費縮減が見込まれる。

⑤耐用年数や経年劣化の程度などを参考にし、軽易な修繕は一般財源を充当し、大規模な施設修繕は、国・都補助金等、財源確保を図っている。今後、維持管理適正化計画を策定したい。

⑥利用者からの情報等、現状を把握し、修繕等をするとか教育委員会から聞いている。計画的に行う修繕等は、老朽化の程度等を総合的に判断して実施していると受け止めている。

生産緑地の追加指定の状況 および農業体験農園の

取り組みについて

ふなき よしのり
船木 良教 議員

質問 さまざまな問題を精査して、平成17年9月から生産緑地の追加指定が実施されている。

①ここで追加指定が申請された面積はどのくらいか。また、今後2年間でどの程度の追加指定が予想されるか。

②すでに指定されている生産緑地の現状を、どのように把握しているか。

③市民農園は人気があるが、生産緑地を借り上げ対応するのは問題が多い。しかし、農業体験農園ということでは可能である。農業の新たな経営施策とされて

おり、長期総合計画でも取り上げているが、取り組み状況はどうか。

④農業政策と障害者福祉政策との連携の観点から、羽村市においても、知的障害者の授産種目に農業を取り入れられないか。

農業体験農園の実現に

向けて支援していきたい

市長 ①追加指定を申請している農地面積は、約1万平方メートルである。今回、申請が間に合わなかった方もおり、次年度以降、数千平方メートルが申請されるものと考えている。

②生産緑地は適正な肥培管理が行われ、継続的な営農ができる等の条件を満たしていることが原則である。年1回、定期的な調査を行っており、肥培管理されていない生産緑地は、農地等として適正な管理に努めるよう指導している。

③農業委員会では、年末から年



▲生産緑地の一つ

公共料金や利用料の 値上げはやめよ

いちかわ えいこ
市川 英子 議員

始にかけて農業体験農園についての周知を兼ねたアンケート調査を実施し、農業者の意向を調査すると聞いている。今後、その結果を基に、市と農業委員会ですらなる検討を進め、連携を図りながら、実現に向けた支援を行っていききたい。

④さまざまな課題が考えられるため、農業に関連する授産事業が展開できる有力な情報が提供された場合は、課題を整理した上で、授産事業に農業を取り入れていくことも検討してみたい。

質問 私鉄労連が春闘に向け暮らしのアンケートを行った結果、「あなたの暮らしの状態はどうですか」との設問に対し、「苦しい」「とても苦しい」との回答が88%にもなり、「手取りの低さに驚く。結婚や子どもが欲しくても生活が成り立たない」「税金、社会保障費など、引かれるのが増えている。生活を守るため、時間外の仕事をする」との意見が出されている。年金暮らしの高齢者はもっと痛みが増す。国の増税もある。市は市民の暮らしを守るという原点に立ち、福祉国家の流れを守るべきとの観点から問う。

①平成18年度からの公共料金などの値上げはどのようなものがあるか。

②市民への負担増はやめるべきではないか。

市民全体の公平性の

確保につながると考える

市長 ①「羽村市使用料等審議会」からの答申を尊重し、下水道使用料、郵送による住民票の写し等の交付手数料（個人以外のもの）、一般廃棄物処理業者許可等手数料、動物公園入園料を、



▲動物公園（昨年5月撮影）

また、「国民健康保険運営協議会」からの答申を尊重し、国民健康保険税の改定について今議会に条例改正案を提案している。

②使用料等の見直しは、特定の公共サービスを受ける市民と受けない市民の公平性を確保するためのもので、そのことが、市民全体の公平性の確保につながるものと考えている。

「羽村市使用料等審議会」においては、受益者負担が適正であるかを、また、「国民健康保険運営協議会」においては、国民健康保険の健全運営と保険税の適正化について、それぞれ慎重に審議いただいたと考えている。

地域防災計画に

アスベスト対策を

もんま
ひでこ
門間 淑子 議員

質問 新潟県中越地震では、災害

復旧工事でのアスベスト対策を求

める通知が出されている。平成17

年7月1日から「石綿障害予防規

則」も施行され、災害時でもアスベ

スト対策が重要課題となっている。

①羽村市地域防災計画の「がれ

き処理」は、アスベストに対応し

たものになっているか。

②震災時、アスベストの識別・分

別・保管・廃棄はどのようにな

されるのか。

③「石綿使用建築物等解体等業

▲各分団に配備されている防塵マ

スク

何人いるか。

④防塵マスクの備蓄も必要では

ないか。

⑤地域防災計画の見直しが必要

ではないか。

市長 ①平成15年度に東京都の

地域防災計画に準じて修正した

が、当時はアスベストの問題が

現在のように大きく取り上げら

れていなかったため、がれき処

理の対策は規定していない。

②状況に応じて散水等により石

綿の飛散を防止し、仮置場に貯

留した場合にシート等を被せ

るなど、飛散防止措置を講じる

必要があると考える。

③労働安全衛生法で受講が義務

付けられている業務は、市には

ないため、受講した職員はいな

い。しかし、有効な知識が習得

できると思われるので、職員に

も受講させたい。

④消防団員については、各分団に防

塵マスクを配備しているが、今後

備蓄も進めていきたい。また、家庭

にも防塵マスクを備えていた、た

くよう、普及啓発を図りたい。

⑤羽村市地域防災計画は、東京

都地域防災計画に準じた形で作

成されており、次回の東京都の

見直しの際に検討することとな

るが、がれき処理にかかわるア

スベスト対策は新たな問題であ

るので、対応方法をマニュアル

化していきたいと考えている。

高橋 美枝子 議員

市独自の助成を

講じる考えはない

市長 ①制度改正の趣旨は、在

宅の要介護者と施設入所者の負

担の公平化、年金保険と介護保

険の食費や居住費の重複支給の

問題を解消するためのものでは

あり、市として、この趣旨に反す

るような食費や居住費等の独自

の助成を講じる考えはない。

②平成18年度からの第3期介護

保険事業期間においては、現行

の利用者負担の5段階を、6段

階とすることが国基準として示

されている。

なお、状況によって多段階の設

定もできることとなっており、

「高齢者保健福祉計画及び介護

保険事業計画審議会」で審議し

ていた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

③「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

④「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑤「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑥「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑦「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑧「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑨「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑩「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑪「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑫「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑬「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑭「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑮「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑯「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑰「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑱「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑲「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

⑳「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉑「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉒「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉓「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉔「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉕「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉖「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉗「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉘「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉙「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉚「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉛「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉜「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉝「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉞「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㉟「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊱「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊲「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊳「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊴「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊵「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊶「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊷「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊸「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊹「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。

㊺「高齢者保健福祉計画及び介

護保険事業計画審議会」で、3年

ごとに市民公募委員会を含む市民

各層の意見を取り入れ、審議

いた、答申に基づ

いて慎重に判断していきたい。